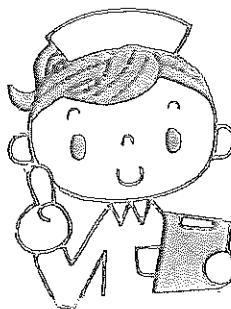


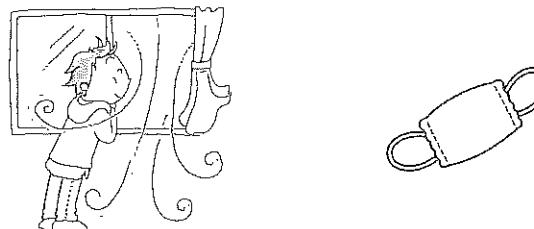
今年は新型コロナウィルス感染症以外にもいろいろな感染症がはやいました。年末年始は生活リズムが乱れがちで、冬にはやる感染症もあり、体調管理には気をつけていきたいですね。引き続き対策をしながら、健康観察をご家庭と連携しておこなっていきたいと思います。



地域では、  
感染性胃腸炎、咽頭結膜熱、溶連菌感染症、インフルエンザA  
が流行っています。

## <続けよう、感染症対策！>

手洗い・うがい、換気はこころかけましょう。咳が出るときはマスクをする、人ごみを避けるなど対策をしていきましょう。



保育園では、ご家庭とともにお子さんの体調をみていきます。発熱だけでなく、咳・鼻水、下痢など症状のある時は休養し、早めの受診をお勧めします。病み上がりはもう1日安静にして様子を見るなど無理をしないことが早い回復につながります。登園の際には小さな変化も保育園にお知らせください。

## <嘔吐下痢の対応について>

胃腸炎は特に冬に流行りやすいです。症状があるときは、早めに受診していただき、脱水にならないようこまめに水分をとりましょう。感染対策のため、保育園で吐物や便で汚れた衣服などは洗わずに黒いビニールに入れてお返しします。

ご家庭で消毒等をお願いします。ご協力お願いします。

### ○汚れた衣服の消毒の方法

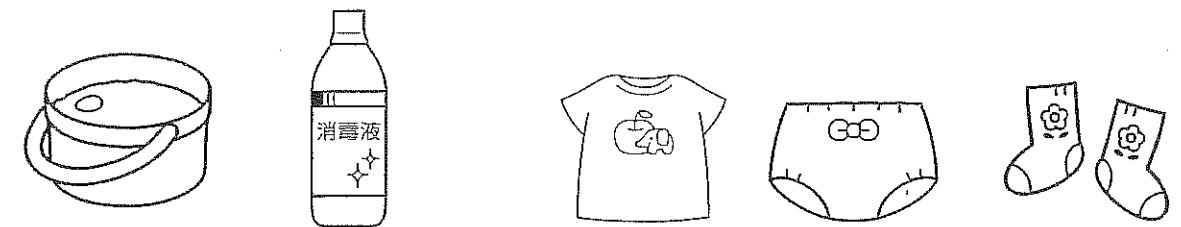
★85℃の熱湯に1分以上つけるか、

塩素系漂白剤を薄めたもので消毒します。

★消毒後は洗濯機で洗います。

消毒するときはマスクを着用しましょう。

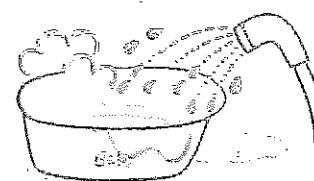
(アイロンかけや天日干しも殺菌効果があります)



## <皮膚の乾燥・肌荒れについて>

子どもたちの肌は、乾燥しやすく、暖房を使うことによってさらに乾燥します。カサカサした肌は傷つきやすく、あかざれやひびわれになってしまいます。

★手を洗った後はしっかり拭きとりましょう。



★石けんはよく泡立てて優しく洗う。



★入浴後就寝前などに保湿する。

